

令和8年度 新規

土地改良事業計画書

(農業競争力強化農地整備事業 西大田第2地区)

事業主体 広島県

施工場所 広島県世羅郡世羅町

第1章 目 的	1
第2章 地域及び地積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第3章 現 況	2
第1節 気象及び海象	2
1 一般気象	2
2 特殊気象	2
3 海 象	3
第2節 土地状況	3
1 地形、土壌及び侵食の程度	3
2 土地分類	4
3 土地利用の状況	4
4 土地所有の状況	5
第3節 水利状況	5
1 用水状況	5
2 排水状況	8
3 河川状況	10
第4節 道路概況	10
1 道路概況	10
2 主要道路一覧表	11
第5節 地域農業の概況	11
1 産業別就業人口	11
2 経営耕地広狭別農業経営体数	11
3 主要家畜頭数	12
4 主要作物作付状況	13
5 農業の動向	13
第6節 地域環境の概要	14

第4章 一般計画	15
第1節 事業計画の要旨	15
1 要 旨	15
2 事業別面積	15
第2節 営農計画及び土地利用計画	15
1 営農計画の概要	15
2 土地利用区分	15
3 作付方式	16
4 生産計画	17
5 労働改善計画	18
6 級地別土地利用区分	19
7 土地配分計画	19
第3節 用水計画	20
1 計画基準年	20
2 計画かんがい方式	20
3 計画用水系統	20
4 計画用水量	20
5 水源計画	21
第4節 排水計画	23
1 計画基準雨量	23
2 計画排水方式	23
3 計画排水系統	23
4 計画排水量	23
5 排水対策	23
6 たん水検討	24
第5節 道路計画	25
1 道路及び索道	25
2 路線配置図	25
第6節 農用地造成計画	25
1 農用地造成計画	25
2 土壌改良	25

第7節	洪水調節計画	26	第4節	農用地造成	32
1	計画基準雨量	26	1	農用地造成	32
2	計画洪水量及び調節量	26	2	土壌改良	34
3	貯水池	26	第5節	洪水調節施設	34
4	洪水調節検討	26	1	貯水池	34
5	管理計画	26	2	頭首工及び導水施設	34
第8節	干拓計画	26	第6節	干拓施設	34
第9節	農用地整備計画	27	1	堤防	34
1	区画整理	27	2	潮止め	35
2	暗渠排水	27	3	付属施設	35
3	客土	28	4	埋立	35
4	農地保全	28	第7節	農用地整備施設	35
第10節	老朽ため池改修計画	29	1	区画整理	35
1	洪水吐改修計画	29	2	暗渠排水	36
2	堤体補強計画	29	3	客土	36
3	取水施設改修計画	29	4	除礫	36
			5	農地保全	37
第5章	主要工事計画	30	第8節	老朽ため池改修施設	37
第1節	用水施設	30	1	貯水池	37
1	貯水池	30	2	堤体補強施設	37
2	頭首工	30	第6章	附帯工事計画	38
3	揚水機	30	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	38
4	用水路	30	第8章	環境との調和への配慮	38
第2節	排水施設	31	第9章	換地計画の概要	38
1	排水水門	31	第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	38
2	排水機	31	第2節	換地区の設定	38
3	排水路	31	1	換地区の名称、所在、面積	38
4	その他	31	2	換地区を設定する理由	38
第3節	道路及び索道	32			
1	道路	32			
2	索道	32			

第3節	換地区計画樹立の基本方針	38
1	従前の土地の地積の基準	38
2	用途別予定地積	39
3	農用地集団化の方針	40
4	非農用地の換地方法	40
第4節	土地の評価及び清算の方法	40
1	評価の方法	40
2	清算の方法	40
第5節	換地計画樹立の年度計画	40
第6節	換地処分の特則	40
第10章	事業費の総額及び内訳	41
第11章	効用	41
第12章	関係する事業	41
第13章	現況・計画図面	41
1	現形図	
2	計画平面図及び土地利用計画図	
3	主要構造図	

第1章 目 的

本地区は、世羅町の南東部に位置し、一級河川芦田川沿いに展開する農用地である。水源は、周辺の溪流やため池、芦田川からの取水により営農されている。小区画ではあるが面的整備を一度行っており、農業従事者の高齢化・後継者不足に対応し、地区内に農地取得適格法人が4法人設立され営農を展開している。法人は、既存経営農地に加えて地区内の農地を集積し、収益性の高い農業経営に取り組むこととしているため、農業競争力のある高生産性の農業を展開するための地区として設定した。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業競争力強化農地整備事業	世羅郡世羅町大字重永、賀茂

第2節 地 積

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農業競争力強化農地整備事業	世羅町	31.9	0.8	0.1	-	3.0	35.8	
合 計		31.9	0.8	0.1	-	3.0	35.8	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	福山	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	1962年～2024年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(°C)		23.6	9.4	15.3	
降水量	平均(mm)	734.8	441.6	1,176.4	
	基準年(mm)				
降水日数	平均(mm)	46	49	95	
	基準年(mm)				
根雪期間		-月-日	～-月-日	-日間	
無霜期間		-月-日	～-月-日	-日間	
最多風向	北北東		最大風速 (風向)	17.8 m/s (東北東)	最多風向発生時期 9月～10月 最大風速発生年月日 1970年8月21日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 世羅	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
観測期間 S26年～R6年															
最大日雨量 (mm)	198	H30.7.6	132.6	180	S50.8.17	60.6	177	H10.10.17	53.2	160	R3.8.14	25.7	153	H1.8.27	19.1
最大時間雨量 (mm)	46	H27.8.17	671.4	40	H9.8.5	29.1	40	S53.9.15	29.1	40	R3.9.4	29.1	39	H19.8.22	19.3
最大4時間雨量 (mm)	102	H10.10.17	39.5	99	H1.8.27	31.0	94	H22.7.14	20.8	89	H4.8.8	14.2	86	H16.8.30	11.3
最大連続雨量 (mm)	524	S60.6.21 ～6.30	-	431	H30.7.3 ～7.8	-	426	R3.8.12 ～8.20	-	398	S56.6.18 ～7.4	-	363	S51.9.8 ～9.13	-
最大連続干天日数 (日)	85	S51.1.1 ～3.25	278.8	60	S52.1.1 ～3.1	45.2	56	S46.10.30 ～12.24	32.7	53	H22.7.16 ～9.6	25.6	52	H16.1.1 ～2.21	23.5

3 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)
観測期間	年～年							
実測値		()						()

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田・畑						樹園地・その他							受益地標高(m)		
		1/1000 以下	1/1000 ～1/100	1/100 ～1/20	1/20 ～1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8°～15°			15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低
										8° ～10°	10° ～12°	12° ～15°					
農業競争力強化農地整備事業	面積(ha)		8.2	17.7	4.3	2.6	32.7									389	347
	比率(%)		25	54	13	8	100										
合計	面積(ha)		8.2	17.7	4.3	2.6	32.7										
	比率(%)		25	54	13	8	100										

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面積(ha)		備考		
	土 壤 断 面								事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層	堆積様式	母材		農業競争力強化農地整備事業	計
					表土 一層	下層土 二層	三層						
橋本(グライ土壌粘土型)E-42	灰/青灰	なし	なし	-	粘	-	-	30～60以下	洪積世堆積 残積・崩積	-	6.2	6.2	
金田、多多良(灰褐色土壌粘土質構造マンガ型)	灰褐	なし	なし	-	粘	-	-	なし	水積	非固結堆積岩	18.7	18.7	
赤池(礫質土壌壤土マンガ型)	灰褐	なし	30～60以下	-	粘	-	-	なし	水積	非固結堆積岩	7.7	7.7	
西山(強グライ土壌粘土還元型)	青灰	なし	なし	-	粘	-	-	0～30以下	水積	非固結堆積岩	0.1	0.1	
計											32.7		

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸蝕の程度		備考
		0	0~ 25%	25%~ 50%	50%	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度 のもの	大なる もの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

2 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	農用地造成											計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地			
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
計													※は傾斜以外の 要因によるもの

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	干 拓					計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)			
計							

3 土地利用の状況

(令和7年11月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地					山 林		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)					
農業競争力強化農地整備事業	世羅町	31.9	0.8							0.1	3.0	35.8	
	合計	31.9	0.8							0.1	3.0	35.8	

4 土地所有の状況

(令和7年11月現在) (第4表-4)

事業名	所有別	個人所有	国所有	県所有	町所有	改良区所有	計	備考
	区分							
農業競争力強化農地整備事業	面積 (ha)	33.2	0.7		1.9		35.8	
	受益者数 (人)	43					43	
	筆数 (筆)	318	24		36		378	
	権利関係 (人)	100					100	
	備考 (関係戸数)							
合計	面積 (ha)	33.2	0.7		1.9		35.8	
	受益者数 (人)	43					43	
	筆数 (筆)	318	24		36		378	
	権利関係 (人)	100					100	
	備考 (関係戸数)							

第3節 水利状況

1 用水状況

芦田川、田打川およびため池、溪流水を水源としている。

(1) 用水系統

別添資料①参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量 m ³ /s	備 考
		ha以上		～ha		100 ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s		
農業競争 力強化農 地整備事 業	貯水池					3	5.4	3	5.4				0.037		
	井堰					2	10.8	2	10.8				0.034		
	自然取入口					1	1.0	1	1.0				0.028	渓流水	
	揚水機					3	13.9	3	13.9				0.043		
	その他														
合 計					9	31.1	9	31.1			0	0.142			

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積(ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を 必要とする 理由	備 考
農業競争 力強化農 地整備事 業	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水機							
	その他							
合 計								

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m3)	不足水量				平均 減産量 (t)		備考
			かんがい期 最大不足水量		かんがい期 総不足水量		作物名	減産量 (t)	
	平均 (m3/s)		基準年 (m3/s)	平均 (千m3)	基準年 (千m3)				
	系統名								
合	計								

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)					備考	
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他		計
合計											

2 排水状況

(1) 排水系統
別添資料④参照

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考	
			500 ha以上		500ha未満～100ha		100 ha未満		箇所	面積ha				
			箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha						
農業競争力強化農地整備事業	自然	排水路						5	96.2	5	96.2	2.527	3.033	
		水門												
	機械	排水機												
		水門及び排水機												
		排水路及び排水機												
合計							5	96.2	5	96.2	2.527	3.033		

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	合 計								

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均 減産量		備考	
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量(t)		
								乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
合計			平均														
			基準年														

3 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m3/s)	既往最大洪水量 (m3/s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
	過去の最大被害額					
	平均被害額					

第4節 道路概況

1 道路概況

芦田川北側は、国道と河川管理道に囲まれた農地区域内に農道があり、国道と河川管理道を連絡する配置になっている。南側は、河川管理道や生活道(町道)に囲まれた農地区域内に農道があり、河川管理道と生活道を連絡する配置になっている。国道・河川管理道、生活道については、十分な幅員が確保されているが、農道においては、幅員が狭いため、農業機械の通行や農作物の運搬に多大な時間と労力を要している。

2 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
1	国道432号線	県	-	6.0	10.0	アスファルト舗装	否	
2	町道末久線	町	-	2.8	4.6	アスファルト舗装	否	
3	町道末久唐池線	町	-	3.3	4.9	アスファルト舗装	否	
4	町道重永本線	町	-	2.7	10.0	アスファルト舗装	否	
5	町道京免1号線	町	-	2.7	9.0	アスファルト舗装	否	
6	町道千疋応神線	町	-	3.3	4.5	アスファルト舗装	否	
7	町道福井線	町	-	1.5	3.8	アスファルト舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業等	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売り 小売業	金融 保険業	不動産業 等	サービス業	公務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
世羅町	7,981	1,906	53	11	5	547	1,087	15	353	985	62	37	1,044	262	1,614	
比率(%)	100	23.8	0.7	0.1	0.1	6.9	13.6	0.2	4.4	12.3	0.8	0.5	13.1	3.3	20.2	

資料:国勢調査(R2)

2 経営耕地広狭別農業経営体

(第7表-2)

区分 市町村名	農業 経営体数 (経営体数)	経営耕地広狭別農業経営体数(経営体)														1経営体当たり平均農用地面積(ha)					備考		
		0.3 ha 未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ~ 30.0	30.0 ~ 50.0	50.0 ~ 100	100 ~ 150	150 以上	田	畑	樹園地	小計	草地		計	
世羅町	1,223	35	205	536	213	67	58	36	21	27	13	8	4	-	-	1.9	0.4	1.6	3.9		3.9		
比率(%)	100	3	17	44	17	6	5	3	2	2	1	1	0	-	-								

資料:農業センサス(R2)

3 主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	主要家畜						備考
	乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	
世羅町	585	6	X	20	X	2	
100戸当り 数量(台、頭)							
利用戸数 割合(%)							

資料:農業センサス(R2)

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		世羅町				計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)		2,493				2,493			
総本地面積(ha)		-							
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
	田	表作	1,770	527					71
裏作									
小計									
畑	春夏作								
	秋冬作								
	小計								
樹園地									
	小計								
計		-				-			
市町村別 延べ作付率(%)		-				-			

資料: 農林業センサス(R2)、中国四国農林水産統計データ集(R2)

5 農業の動向

(第7表-5)

項目	農業経営体			土地		主要作物			主要家畜			地域 指定等	備考
	B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業経営体数	84	66	耕地	78	70	米	104	101	乳用牛	171	66	A: 令和2年 B: 平成27年 C: 平成22年
	個人経営体数	83	64	田	82	75	麦類	-	92	肉用牛	-	-	
	団体経営体(法人)数	121	118	普通畑	45	35	豆類	89	51	豚	-	-	
	団体経営体(非法人)数	100	75	樹園地	-	-	野菜	110	134	採卵鶏	80	72	
変化の理由	農業を取り巻く社会情勢の変化による。												

資料: 農業センサス、広島農林水産統計データ集・統計年報

第6節 地域環境の概要

世羅町には、山林や農地、河川、ため池、湿地等、様々な自然環境があり、多様な動植物の生息・生育の場所となっている。また、貴重な動植物の生息が数多く確認されており、特に男鹿山のスズランの保護に向けた生息環境の維持・保全が重要になっている。

本地区は、山間地域内に位置している。芦田川を中心に平地が広がるほか、谷あいにおいて水田や畑地などの営農が行われている。地区周辺は過去に整備された痕跡が見られ、比較的なだらかな地形の場所が多い。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は、生産基盤である耕地に関して区画形質の改善、用排水路、道路、暗渠排水の整備、耕地の集団化等を総合的に実施し、農業機械の効率的な運行と合理的な水管理を行ないうる生産性の高い条件に整備することを目的とする。

また、農業従事者の高齢化による地域農業衰退の危機を解消するため、事業を契機に規模を拡大する地元営農法人への農地集積、広島県が掲げる高収益作物の取り組みにより、地域農業の再編と農業経営の安定を図る。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	農業競争力強化農地整備事業										小計 (ha)	計 (ha)	備考	
	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	山林 原野等 (ha)	その他	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	山林 原野等 (ha)	その他				
区画整理		28.7	1.1		6.0						35.8		35.8	
(暗渠排水)		(28.7)	(1.1)								(29.8)		(29.8)	
計		28.7	1.1		6.0						35.8		35.8	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

現在、農業に取り組む若い担い手の減少や営農者の高齢化が急速に進行しているため、本地区を含めた地域農業の大きな課題になっている。この課題を解消するために、集落法人の規模拡大・農地集積の進行・共同購入など集落法人間の連携を加速させ、区画整備や暗渠排水などの基盤整備を併せることで、営農効率の向上・高収益作物への取り組み拡大を推進する。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)											
農業競争力強化 農地整備事業	現況	31.9	0.8					32.7			3.1	35.8	
	計画	28.7	1.1					29.8			6.0	35.8	
計	現況	31.9	0.8					32.7			3.1	35.8	
	計画	28.7	1.1					29.8			6.0	35.8	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用 区分	1年目												2年目												備考	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
農業競争力強化農地整備事業	現況	水稲	田				○	△					×						○	△				×			○:播種		
		麦	田											○							×				○			△:定植	
		大豆	田							○					×						○					×		×:収穫	
		野菜(広島菜)	田・畑						△		×	△		×						△		×	△		×				
	計画	水稲+麦+野菜	田					○			水稲		×	○					○	△		×	×	○	△		×		
		水稲+麦+野菜	田					○			水稲		×	○				麦			×	○		水稲		×	○		
		水稲+麦+野菜	田						△		×	△		×	○			麦			×	○		水稲		×	○		
		水稲+麦+大豆	田					○			水稲		×	○				麦			×	○		水稲		×	○		
		野菜	田・畑																										
					3年目												4年目												
	現況	水稲	田				○	△						×							○	△				×			
		麦	田							×				○								×				○			
		大豆	田							○					×							○					×		
		野菜(広島菜)	田・畑						△		×	△		×						△		×	△		×				
	計画	水稲+麦+野菜	田	×				○			水稲		×	○				麦			×	○		水稲		×	○		
水稲+麦+野菜		田							×			○	△		×					×	○		水稲		×	○			
水稲+麦+野菜		田							×			○	△		×			麦			×	○	水稲		×	○			
水稲+麦+大豆		田							×			○	△		×			麦			×	○		大豆		×			
野菜		田・畑																											

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳(t)		備考
	土地利用区分	作物名	現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積当たり 収量増加	
農業競争力強化農地整備事業	田	表	水稲	21.6	15.5	△ 6.1	70	62	541	557	16	116.9	86.3	△ 30.6	△ 33.0	-
		表	飼料用稲(WCS)	4.6		△ 4.6	15		2,277				104.7		△ 104.7	-
		裏	麦	2.9	2.9	0.0	9	12	287	412	125	8.3	11.9	3.6	0.0	-
		表	大豆	0.7	2.9	2.2	2	12	136	204	68	1.0	5.9	4.9	3.0	-
		表	広島菜	0.6	4.4	3.8	2	18	4,800	5,520	720	28.8	242.9	214.1	182.4	- 2回採り
		表	キャベツ		4.4	4.4		18	6,807	6,807	0		299.5	299.5	299.5	- 2回採り
		表	かぼちゃ		1.3	1.3		5	1,217	1,631	414		21.2	21.2	15.8	-
			自己保全	0.2		△ 0.2	1									
	畑	表	かぼちゃ		0.9	0.9		3	1,217	1,631	414		14.7	14.7	11.0	-
			自家消費	0.8		△ 0.8	3									
計			31.4	32.3	0.9	101	129									

本地面積 現況 31.1 ha
計画 25.0 ha

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目		作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備考
	土地 利用区分	作物名		区分	現況	計画	増減	
農業競争力強化農地整備事業	田	水稻	15.5	人 力	45.1	9.7	35.4	
				機 械 力	14.9	7.0	7.9	
		麦	2.9	人 力	19.0	4.5	14.5	
				機 械 力	14.0	4.0	10.0	
		大豆	2.9	人 力	23.0	13.0	10.0	
				機 械 力	7.4	3.9	3.6	
		広島菜	4.4	人 力	160.5	59.4	101.1	
				機 械 力	24.8	18.5	6.3	
		キャベツ	4.4	人 力	150.3	80.7	69.7	
				機 械 力	52.5	41.8	10.8	
		かぼちゃ	1.3	人 力	109.0	45.4	63.6	
				機 械 力	33.0	16.0	17.0	
				人 力				
				機 械 力				
			人 力					
			機 械 力					
			人 力					
			機 械 力					
	畑	かぼちゃ	0.9	人 力	109.0	45.4	63.6	
				機 械 力	33.0	16.0	17.0	
			人 力					
			機 械 力					
計		32.3	人 力	615.9	258.1	357.8		
			機 械 力	179.6	107.2	72.4		

6 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成(ha)					干拓(ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
	その他											
	計											

7 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画(ha)								備考
		田	転換耕地	畑			計			
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1 計画基準年

近傍世羅観測所の資料(昭和26年～令和6年)における、かんがい期間中の有効雨量と連続干天日数の1/10年確率を求め、平成20年を計画基準年とする。

2 計画かんがい方式

暗渠管(塩化ビニル管)、開水路(KF・DF水路)にて取水かんがいを行う。かんがい期間は4月20日～9月9日の142日間とし、代掻き期は4月20日～4月30日の10日間とする。

3 計画用水系統

別添資料②参照

4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考			
		事業名			普通期 単 位 計 画 平 均 水 量 (mm/日)	代かき期 単 位 計 画 平 均 水 量 (mm)	面積 (ha)	深 り 一 均 計 日 か 画 当 ん た 水 (mm/日)	平 均 間 断 日 (日)	面積 (ha)	深 り 一 均 計 日 か 画 当 ん た 水 (mm/日)	平 均 間 断 日 (日)	面積 (ha)	単 位 計 画 平 均 水 量 (mm/日)	面積 (ha)			平均	最大				
		農業競争力強化農地整備事業		計																	平均	最大	
A	農業用水	0.9		0.9	21	140	0.9									0.037	15	0.042	0.089				
B	農業用水	4.4		4.4	21	140	4.4																
C	農業用水	7.9		7.9	21	140	7.9																
D	農業用水	3.4		3.4	21	140	3.4																
E	農業用水	2.8		2.8	21	140	2.8																
F	農業用水	1.2		1.2	21	140	1.2																
G	農業用水	4.4		4.4	21	140	4.4																
計		25.0		25.0			25.0											0.042	0.089				

(2) 営農飲雑用水

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積(ha)			日当たり給水量		補給回数(回)	関係戸数(戸)	備考
		事業名			単位給水量 ($\frac{\%}{日}$)	最大給水量 ($\frac{\%}{日}$)			
				計					

5 水源計画

(1) 水利用計画

別添資料③参照

(第10表-2)

区分	項目	消費 水量	有効 雨量	純用 水量	粗用 水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
							e (千m3)	f (千m3)	g=c-f (千m3)	h=d-e (千m3)		(千m3)		
		a (千m3)	b (千m3)	c=a-b (千m3)	d= c/(1-a) (千m3)		e (千m3)	f (千m3)	g=c-f (千m3)	h=d-e (千m3)		(千m3)		損失率 :a
(事業名)														15
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

貯水池名	項目	流域面積 (km2)		かんがい面積(ha)		純貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備考
		直接	間接	事業名						
				農業競争力強化農地整備事業	計					
堀池		0.003				0.5	-	-		
大鳥池		0.187		10.8	10.8	2.1			0.037	
宮迫池		0.005				1.8				
計		0.195		10.8	10.8	4.5			0.037	

(イ) 井堰及び自然取水口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積(ha)		取水量(m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事業名		最大	平均		
			農業競争力強化農地整備事業	計				
城ヶ鼻井堰	芦田川	-	8.1	8.1	0.027	0.024	-	
石積井堰	田打川	-	1.2	1.2	0.029	0.028	-	
-	溪流	-	9.0	9.0	0.028	0.026	-	
計			18.3	18.3	0.084	0.078		

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積(ha)		所要水量(m ³ /s)		揚水機				備考
		事業名		最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		農業競争力強化農地整備事業	計							
ポンプ1	芦田川	4.4	14.7	0.016	0.016	-	-	-	-	
ポンプ2		2.8		0.010	0.010					
ポンプ3		3.5		0.012	0.012					
ポンプ4		4.0		0.016	0.016					

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積(ha)		最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名					
	農業競争力強化農地整備事業	計				
支線用水路	25.0	25.0	0.012~0.247	2.58	角フリューム(KF200~500) 塩化ビニルパイプ(φ250~600)	
計	25.0	25.0	0.012~0.247	2.58		

(オ)その他の水源施設

該当なし

(3)水温水質

水温、水質とも作物生育上支障なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

1/10年確率 (時間雨量) 37.2 mm/hr (4時間雨量) 84.3 mm/4hr

1/2年確率 (時間雨量) 30.6 mm/hr (4時間雨量) 58.4 mm/4hr

2 計画排水方式

角フリュームまたはDFフリュームにより芦田川及び田打川へ自然排水する。

3 計画排水系統

別添資料⑤参照

4 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	項目		受益面積(ha)		流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量(m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名		山地	平地	山地	平地		山地	平地	山地	平地	自然排水	機械排水	山地	平地		
	農業競争力強化農地整備事業															計	
A		14.0	14.0	0.079	0.073	37.2	2.927	2.342			0.231	0.499		2.924	2.343		
B		5.3	5.3	0.051	0.004	37.2	2.927	2.342			0.150	0.133		2.941	2.333		
C		4.4	4.4	0.061	0.048	37.2	2.927	2.342			0.179	0.215		2.934	2.337		
D		4.0	4.0	0.058	0.003	37.2	2.927	2.342			0.170	0.101		2.931	2.349		
E		8.1	8.1	0.218	0.009	37.2	2.927	2.342			0.638	0.211		2.927	2.344		
計		35.8	35.8	0.467	0.137						1.368	1.159					

5 排水対策

(1)排水水門

該当なし

(第11表-2)

名称	流域面積 (km ²)	項目				計画排水量		排水本川			備考
		受益面積(ha)				排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)	名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		事業名									
					計						
計											

(2) 排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農業競争力強化農地整備事業	計							
支線排水路	~0.139	29.8	29.8	~0.371	3.76	KF200~KF500 DF600×600~1000×600	芦田川			
計					3.76					

(4) その他

該当なし

6 たん水検討

該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
路線名				
支線道路	4.0(3.0)×0.69 4.0～3.0(3.0～2.5)×2.30 4.0～3.0(3.0～2.5)×0.10 4.0(3.0)×0.99	アスファルト 砂利 コンクリート アスファルト	国道・市道・農道に接続 市道・農道に接続 市道・農道に接続 既設利用	
計	4.08			

(2) 索道

該当なし

(第12表-2)

項目	能力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備考
路線名				

2 路線配置図

計画平面図参照

第6節 農用地造成計画

1 農用地造成計画

該当なし

(1) 農用地造成計画

該当なし

(第13表-1)

項目	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考
土地利用区分					

(2) 末端水路配置図

該当なし

2 土壌改良

該当なし

(第13表-2)

項目	面積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H ₂ O	KCl			石 灰 (t)	りん酸質 資 材(t)	有機質 資材(t)	
区分										

第7節 洪水調節計画

1 計画基準雨量 該当なし

2 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節後流量 (m ³ /s)	調節前後最大流量 (m ³ /s)	調節前後最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3 貯水池 該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4 洪水調節検討 該当なし

- (1) 河川改修計画との関係
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5 管理計画 該当なし

- (1) 管理機構
- (2) ダム管理操作上の各種基準
- (3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1 区画整備

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
125×80	1.00	15.3	51.3	1m以内	
100×50	0.50	13.9	46.7	1m以上	
100×20	0.20	0.6	2.0	1m以上	
端田区					
計		29.8			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
25.0	肥沃度の保持が困難	15	37,500	

(3) 末端道水路配置図

計画平面図参照

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目	面積(ha)		区分	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{l}{s}/ha$)	計画後の 地下水位(m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備考
	事業名	計							
地下水水位制御システム	29.8	29.8			40	4.6	(水位設定可)	自然排水	
計		29.8							

(2) 心土破砕

該当なし

(第16表-3-2)

項目	面積(ha)		区分	土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名	計				
計						

3 客土

該当なし

(第16表-4)

区分	面積(ha)			土壌統(区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m3)	土壌の性質		備考
	事業名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料)(%)	
			計									

4 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排出量 (m3/s/ha)	全排水量 (m3/s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

区分	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

- | | |
|------------|------|
| 1 洪水吐改修計画 | 該当なし |
| (1) 計画基準雨量 | |
| (2) 計画洪水量 | |
| 2 堤体補強計画 | 該当なし |
| 3 取水施設改修計画 | 該当なし |

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池

該当なし

(第17表-1)

名称	形式	流域面積(km ²)		位置 堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³)	基盤地番 地質	貯水量(千m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	

2 頭首工

該当なし

(第17表-2)

名称 型式	堤高 (m)	堤長(m)			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
		固定部	可動部	計				

3 揚水機

該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	

4 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)		通水量 (m ³ /s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	農業競争力強化農地整備事業									
支線用水路	25.0		0.012~0.247	1.565	1.015	2.580	KF200~500 塩化ビニルパイプ(φ250~600)	1/100~1/600	角フリューム 塩化ビニルパイプ	
計	25			1.565	1.015	2.580				

第2節 排水施設

1 排水水門

該当なし

(第18表-1)

名称	項目	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水路 (m ³ /s)	備考
計								

2 排水機

該当なし

(第18表-2)

名称	項目	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程(m)		排水機			原動機			備考
				全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	
計												

3 排水路

(第18表-3)

水路名	項目	受益面積(ha)		排水量 (m ³ /s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
		事業名	農業競争力強化農地整備事業		開きよ	トンネル その他	計				
支線排水路		29.8		~0.371	3.76			KF200~KF500 DF600×600~1000×600	1/100~ 1/2830	角フリューム DFフリューム	
計		29.800			3.76		3.76				

4 その他

該当なし

第3節 道路及び索道

1 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

区分	項目 路線名	幅(有効)(m) ×延長(km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	21路線	4.0~3.0(3.0~2.5)×3.09	AS・砂利							
既設道路	5路線	4.0(3.0)×0.99	AS・砂利							
計		4.08								

(2) 道路主要構造物

該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2 索道

該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
				型 式	能 力 ()	

第4節 農用地造成

1 農用地造成

(1) 抜根

該当なし

(第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2) 除 礫

該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考

(3) 開 墾 作 業

該当なし

(第20表-3)

区分	項目		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法				
	計				

(4) 地 目 変 換

該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積(ha)	工法	備考
	計			

(5) 末 端 用 水 路 等

該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6) 末 端 排 水 路 等

該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2 土壌改良

該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調節施設

1 貯水池

該当なし

2 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工

該当なし

(第21表-2)

名称	位置		延長(m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計			
型式	集水面積 (km ²)	提高 (m)						

(2) 導水路

該当なし

(第21表-3)

水路名	項目	通水量 (m ³ /s)	延長(m)			構造	勾配	備考
			トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1 堤防

該当なし

(第22表-1)

名称	項目	型式	延長 (m)	構造				原地盤標高(m)		備考
				堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2 潮止め

該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3 附属施設

該当なし

4 埋立

該当なし

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m3)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m3)	面積(ha)	土量(m3)	
西大田第2	25.0	100a	379,170	25.0	37,500	

(2) 末端用水路等

該当なし

(第23表-2)

項目 区分	数量	規模	構造	備考

(3) 末端排水路等

該当なし

(第23表-3)

項目 区分	数量	規模	構造	備考

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

区分	項目		ベストドレーン工				ピット工 1～8型	湧水処理工		フォアス 枿	水位制御 器	分水栓	備考
	面積 (ha)		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	箇所	管種	延長 (m/ha)	(個)	(個)	(個)	
	事業名	計											
	農業競争力強化農 地整備事業												
	輪換田	29.8	29.8	水平	有孔 PEW	50～100	1,065	974 900m(6型)	有孔 PEW φ50	286	92	92	92
	計		29.8										

(2) 心土破碎 該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

3 客土 該当なし

(第23表-5)

区分	項目			客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	面積(ha)							
	事業名		計					
	計							

4 除礫 該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路 該当なし

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考

(3) 侵食防止工 該当なし

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池 該当なし

(第24表)

名称	項目				位置	備考		
堤体	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³ /s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考

2 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

地区名	着手予定年度	完了予定年度	備考
西大田第2	令和8年度	令和14年度	

第8章 環境との調和への配慮

環境調査で確認された希少動植物への配慮について、保護すべき植物としてヒメミズワラビ・シヤジクモなどの4種、保護すべき動物として地域特徴種を含めたチョウセンイタチ・トノサマガエルなど9種が該当するが、これらについては施工前移動・移植など適切な対応を行なう。

また、工事着手後に保護すべき生物が確認された場合は、対応・工法について検討を行ない適切に対処する。

工事中は、河川汚濁防止施設を設置し、工事区域からの濁水放流に配慮する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

原則として、各人の従前地の土地が最も密集した位置を中心に集団化を図り、本地区の換地設計基準、土地評価基準に基づいて換地配分する。

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
西大田第2	世羅郡世羅町大字重永 字 城ヶ鼻、箕詰、笑迫、末久、宗信、橡木、京免、千疋、鳥落、鳴滝 世羅郡世羅町大字賀茂 字 宮迫谷、鯉田	35.8

2 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
西大田第2	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している土地にあつては、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とし、これ以外の土地及び分筆して編入される土地にあつては、事業主体の行う実測による地積とする。 なお、国土調査に係る異議申出があつたときは、これを受け付けて対応を検討する。

2 用途別予定地積

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地								機能交換に係る土地				一般 国 公 用 地	総 合 計						
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に 含める土地 (令第1条の9括弧書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			農 創 用 地 設 計	合計	特定用途用地			創設非農用地					合計	国			県	市	合計			
						土地 改良 施設	その他	小計		改良 区	市	計			宅 地	その他	計	異 種 目 換 地	農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 地	宅 地 等								計		
																															合計	国
西大田第 2	従前の土地	31.6	0.8	0.1	0.2							32.7				32.7	0.2		0.2	0.3						0.5	0.7		1.9	2.6		35.8
	換地	28.7	1.1									29.8	1.5		1.5	31.3	0.2		0.2	0.3						0.5	0.7		3.3	4.0		35.8
	従前の土地																															
	換地																															
全体	従前の土地	31.6	0.8	0.1	0.2							32.7				32.7	0.2		0.2	0.3						0.5	0.7		1.9	2.6		35.8
	換地	28.7	1.1									29.8	1.5		1.5	31.3	0.2		0.2	0.3						0.5	0.7		3.3	4.0		35.8

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
西大田第2		該当なし	母地集団化方式	概ね2団地	(固定畦畔) ア.換地は、原則として標準区画を単位に交付するが、換地すべき面積が標準区画に交付して余る場合又は標準区画に不足する場合は標準区画を分割して交付する。 (移動畦畔) ア.畦畔は、配分面積に応じて移動して定める。

4 非農用地の換地方法

(第25表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m2)	換地の手法	換地取得予定者	その他
西大田第2		別添資料⑥参考					

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

項目別配点評価方式 本地区で決定した評価基準に基づき評価委員が評価する。

2 清算の方法

比例地積清算方式 事業による増価額を従前の土地の交付対象面積に比例して配分する。

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

換地区名	区分	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
西大田第2		令和9～11年度	令和14年度	令和14年度	地区面積35.8ha

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分	事業名	農業競争力強化農地整備事業 (百万円)	備考
区画整理		529	R7年度単価
暗渠排水		157	
小計		686	
測量試験費		107	
用地買収補償費		48	
換地・確定測量費		46	
事務費(工事雑費含む)		44	
合計		931	
関連事業(参考)			

第11章 効用

(第27表)

事業名	項目	年総効果額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備考
農業競争力強化 農地整備事業	作物生産効果	10,875	20,188	
	営農経費節減効果	62,506	62,506	
	維持管理費節減効果	△556	△556	
	耕作放棄防止効果	197	-	
	国産農産物安定供給効果	2,807	-	
	計	75,829	82,138	

第12章 関係する事業

該当なし

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

第13章 現況・計画図面

- 1 現形図
- 2 計画平面図及び土地利用計画図
- 3 主要構造図